

STEP
04

わかりやすく主張しよう

B型「考察文」の書き方、主題文と支持文、PREP、下書きの重要性

- ・ B型の考察文（授業内で書くような、資料引用がない短い考察文）の練習です。
- ・ 授業2回分を想定しています。

準備

- ・ レジメ（4ページ）
- ・ 資料1（1ページ） →横置きページです。セクション切り替えで無理やりつながらず、ファイルを分けましたが、印刷するなら資料2を裏面にして、1枚にしてください。
- ・ 資料2（1ページ）
- ・ ワークシート（2ページ）×5テーマ（自分が選んだテーマのワークシートを使う）

+

進め方（1週目）

1. 今回の課題

- ・ 1週目はまず課題のやり方を説明し、課題をやらせます。B型についての説明は2週目です。
- ・ やり方はレジメに書いた通りです。
 - 5つのテーマから書きやすいものを選び、対応するワークシートを埋めます
 - 埋めたところで教員に見せて、OKをもらったなら、Wordで新規文書を作り、レポートとして書き起こします。
- ・ 資料1にワークシートの執筆例、資料2にそこから書き起こしたレポートの例があります。

進め方（2週目）

・ 授業の前半で発表

→やりかたはお任せします。

2. B型の考察文

- ・ 発表の後、レジメの「2. B型の考察文」を読んで、B型についての説明をおこなってください。
- ・ ワークシート中の理由欄で、「概要（一言でいうと）」→「詳細（もう少し具体的にいうと）」という二段階の書き方が繰り返されました。
 - 「2. B型の考察文」の説明の中で、「A型の短い説明文を文中に埋め込むつもりで書く」といっているのがこの書き方です。
 - 「**主題文と支持文**」という言い方もよくされるので、囲み記事に書いています。
- ・ また今回の「主張→理由（概要→詳細）→要約」という構成は、プレゼンという「PREP」と同じものなので、そのことも囲み記事にしています。

+